

聖霊降臨後第4主日特祷（特定9）

全能の神よ、私たちがキリストにあってあなたとの和解のしるしとなるようにと、あなたは教会を召し出しておられます。どうか私たちに、あなたの愛の福音を宣べ伝える力を与え、それを聴く人々が皆あなたへと立ち帰りますように。父と聖霊とともに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる私たちの主、イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 イザヤ書 66章 10-14節

66:10 エルサレムと共に喜び祝い、彼女のことで喜び躍れ、彼女を愛するすべての人よ。彼女と共に大いに喜べ、彼女のために嘆いていたすべての人よ。11 あなたがたは彼女の慰めの乳房から飲んで満ち足り、彼女の豊かな胸から飲んで楽しむであろうから。12 主はこう言われる。見よ、私は彼女に与える、平和を、河のように、国々の繁栄を、大河の流れのように。あなたがたは乳を飲み、脇に抱かれ、膝の上であやされる。13 母がその子を慰めるように、私はあなたがたを慰める。エルサレムで、あなたがたは慰めを受ける。14 これを見て、あなたがたの心は喜び、あなたがたの骨は青草のように萌え出でる。主の手はその僕たちに知られ、その憤りはその敵に向けられる。

詩 編 第66編 1—8節

- 1 全地よ、神に向かって喜びの叫びを上げよ || 御名の栄光をほめ歌い、栄光に賛美を添えよ
- 2 神に向かって言え「あなたの業は恐るべきもの || 大いなる力により、敵はあなたに屈服します
- 3 全地はあなたに向かってひれ伏し、ほめ歌います || あなたの名をほめ歌います」と
- 4 来て、神の業を見よ || 人の子になされた恐るべき業を
- 5 神は海を乾いた地に変えた || 人は大河を歩いて渡り、そこで、私たちは神を喜び祝った
- 6 神は力によってとこしえに支配し、その目は諸国民を見渡される || 背く者は自ら驕ってはならない
- 7 もろもろの民よ、我らの神をたたえ || 賛美の歌声を響かせよ
- 8 神は私たちに命をお与えになる || 私たちの足をよろめかすことはない

使徒書 ガラテヤの信徒への手紙 6章《1-6》、7-16節

《1 きょうだいたち、もし誰かが過ちに陥ったなら、霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正しなさい。あなた自身も誘惑されないように、自分に気をつけなさい。2 互いに重荷を担いなさい。そうすれば、キリストの律法を全うすることになります。3 何者でもないのに、自分を何者かであると思う人がいるなら、その人は自らを欺いているのです。4 おのおの自分の行いを吟味しなさい。そうすれば、自分だけには誇れるとしても、他人には誇れなくなるでしょう。5 おのおのが自分の荷を負うことになるのです。6 御言葉を教えてもらう人は、教えてくれる人と良いものをすべて分かち合いなさい。》

7 思い違いをしてはなりません。神は侮られるような方ではありません。人は、自分の蒔いたものを、また刈り取ることになるのです。8 自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、霊に蒔く者は、霊から永遠の命を刈り取ります。9 たゆまず善を行いましょう。倦むことなく励んでいれば、時が来て、刈り取ることになります。10 それゆえ、機会のある度に、すべての人に対して、特に信仰によって家族になった人々に対して、善を行いましょう。

11 御覧のとおり、私はこんなに大きな字で、自分の手であなたがたに書いています。12 肉において見栄を張りたい人たちがあなたがたに割礼を強いています。彼らはただ、キリストの十字架のために迫害を受けたくないだけなのです。13 実際、割礼のある者自身、律法を守っていないのに、あなたがたに割礼を望んでいるのは、あなたがたの肉を誇りたいからです。14 しかし、この私には、私たちの主イエス・キリストの十字架のほか、誇るものが決してあってはなりません。この方を通して、世界は私に対し、また私も世界に対して十字架につけられたのです。15 割礼の有無は問題ではなく、大事なのは、新しく造られることです。16 この基準に従って進む人々の上に、また、神のイスラエルの上に、平和と憐れみがありますように。

福音書 ルカによる福音書 10章 1-11、16-20 節

10:1 その後、主はほかに七十二人を任命し、ご自分が行こうとするすべての町や村に二人ずつ先にお遣わしになった。2 そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に関心なさい。3 行きなさい。私があなたがたを遣わすのは、狼の中に小羊を送り込むようなものである。4 財布も袋も履物も持って行くな。誰にも道で挨拶をするな。5 どんな家に入っても、まず、『この家に平和があるように』と言いなさい。6 平和の子がそこにいるなら、あなたがたの願う平和はその人にとどまる。もし、いなければ、その平和はあなたがたに戻って来る。7 その家に泊まって、そこで出される物を食べ、また飲みなさい。働く者が報酬を受ける

のは当然である。家から家へと渡り歩くな。8 どの町に入っても、迎え入れられたら、差し出される物を食べなさい。9 そして、その町の病人を癒やし、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。10 しかし、町に入っても、迎え入れられなければ、大通りに出てこう言いなさい。11 『足に付いたこの町の埃さえも払い落として、あなたがたに返す。しかし、神の国が近づいたことは知っておけ。』

16 あなたがたに耳を傾ける者は、私に耳を傾け、あなたがたを拒む者は、私を拒むのである。私を拒む者は、私をお遣わしになった方を拒むのである。」

17 七十二人は喜んで帰って来て、言った。「主よ、お名前を使うと、悪霊どもでさえ、私たちに服従します。」18 イエスは言われた。「私は、サタンが稲妻のように天から落ちるのを見ていた。19 蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を、私はあなたがたに授けた。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つない。20 しかし、悪霊どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではならない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」